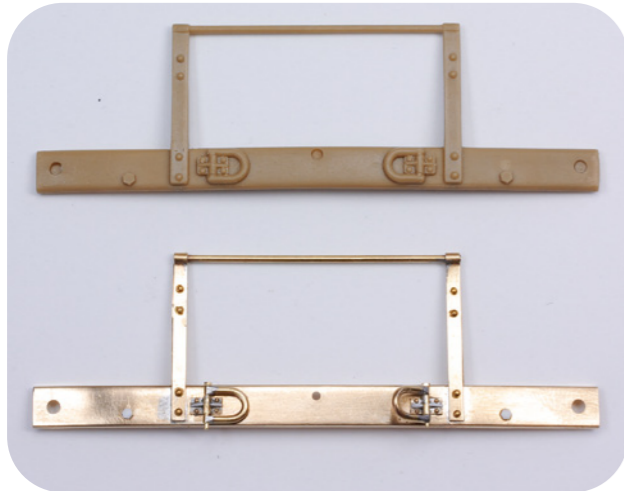




# Chevrolet 30cwt

Modeling by Kunihito Kawamura



# LRDG Truck

## Long Range Desert Group

1/35 scale  
TAMIYA MM 92 British LRDG Chevrolet  
Wee Friends WF35001 British Desert Tanker #1

タミヤのMM92 デザートシボレーは30年以上前に発売された古いキットだが、この時期のMMは脂が乗っており魅力的なアイテムが多数揃っている。いずれも少ない部品点数ながら巧みな彫刻技術でリアルに仕上げることができる。いわゆるデフォルメが入ったものやディテールの省略もみられるが、そこに手を加えてやればよりリアルになると思うと、モデラー魂を掻き立てられる良い素材だともいえる。この作品もそうしたディテールアップを楽しむために制作した。

そもそもデザートシボレーなんて実にマニアックなアイテム選定ではなかろうか。キット発売当時、LRDGを知っていたMMユーザーがどれだけ居たか疑問だが、キットとして我々モデラーに史実を伝える役目もMMシリーズの使命だったのかも知れぬ。売上至上主義の昨今では考えられないアイテム選定で、メーカーにはそうしたアイテム選定を再びお願いしたい。

キットの制作はフェンダーやフロントグリルのバリ取りから始めた。またラダーフレームなどに深いヒケがみられるのでパテ修正する。荷台部品には押し出しピンの跡が出ているのでこれらもパテで処理する。最近筆者はパテを使う場面でウェーブの「黒い瞬着」と「瞬着硬化促進スプレー」を併用している。これは作業効率が上がり実に良い。バンパーはアイキャッチな部分

なので、真鍮材から自作。シート横のライフル固定金具やオイル缶ラックの取っ手なども真鍮材でディテールアップしている。サンドチャンネルはHAULERのHLU35013英軍サンドチャンネルセットが手に入らなかったのでエッチングを自作した。荷台の装備品はキットのパーツは勿論、手持ちのパーツからチョイスしてそれらしく積み込んだ。軟質樹脂製のタイヤはホイールに嵌めておくたび割れてしまう。メーカーには素材の改定をお願いしたい。このキット用のレジンパーツも市販されているが、間に合わなかったためタミヤのハンビーのゴムタイヤで代用した。

塗装はお気に入りのガイアカラーを使用。迷彩にするか悩んだがデザートピンク色とした。そのデザートピンクの色味はライフカラーUA230を参考にした。ただベタ塗りしたのでは面白くないので、シボレーの生地色としてサンド色を塗り、その上からデザートピンクをオーバースプレーした様子を表現してみた。ウェザリングはバリダカールラーを走る車の写真を見ても乾いた砂漠では泥のようにこびり付くことは無いようだから、退色表現とチッピングを少々加えたのみでビグメントは使用せず、軽くバフ色を足回りに吹き付けたのみだ。飾りにWee FriendsのWF35001を置いたがこれは戦車兵なので、本来は適当ではないだろう。

